

教材教具名	2桁×2桁計算補助具	教科 (数学)
-------	------------	-----------

教材教具写真

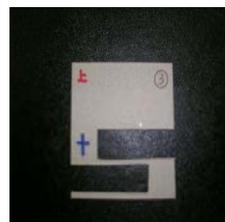
①



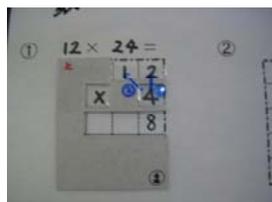
②



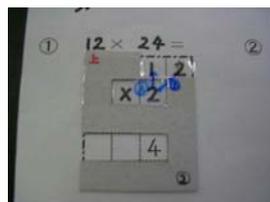
③



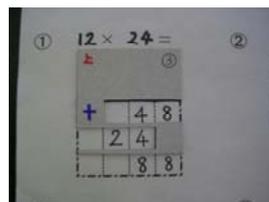
使い方



2桁×一の位



2桁×十の位



たし算

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- ねらい：2桁×十の位を正確に計算し、正しい場所に位取りをすることと、2桁×一の位、十の位の計算結果を足して答えを求めること。
- 発達段階など：2桁×1桁の計算ができるが、2桁×十の位の計算結果を書く場所が曖昧でした。きっとどこに答えを書いていいかわからないのだろうと推測し、このような教具を作ってみました。また、最終的な答えを求める際に「足す」ことができませんでした。
- 使い方：1cm方眼のマス目が入った計算プリントと併用し、そのプリントに重ねて置きながら使います。
 - ①2桁×一の位
 - ②2桁×十の位
 - ③計算結果を足す

を順番に計算できるように3枚のカードを用意しました。そのカードは、計算してほしい数字と答えを書いてほしい欄だけが切り抜かれているので、位取りを間違えることはありません。計算に慣れてくると、自然にカードを使う回数が減り、最終的にはカードを使用することなく正確な計算ができるようになりました。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

基本的には、「計算に不必要な箇所を見せない」というのがポイントです。カードの使い方が定着すると、一人で操作できるので宿題でも利用することができました。また、本人も計算する際にはカードを頼りにしており、自らロッカーにカードを取りに行くこともありました。素材が厚紙だったため耐久性にやや不安がありましたが、必要に応じて見える範囲を広げることでもできるので応用しやすかったです。もし、耐久性を上げようと思うなら、ラミネートを施し必要なところだけ切り抜いても使用可能だと思います。